

ヨコハマR委員会 第3回全体会議

日時：平成23年12月5日（月）

13：30～15：00

場所：松村ビル地下1階会議室

1 あいさつ

委員長：「ヨコハマ3R夢プラン」が今年策定され、市民・事業者のみなさまにおいても、新たな展開として取組が進められていると思うが、「ヨコハマR委員会」もプラン推進の一つとしても注目を浴びている委員会だと聞いている。

皆様に活発に議論していただき、「ヨコハマ3R夢プラン」推進のヒントとなるようなたくさんアイデアが出てくると良いと思う。

局長：「ヨコハマR委員会」において、新しいリデュースの取組が実現でき、委員の皆様それぞれの立場で普及啓発していただき、大きな成果があったと思う。まだまだ市民のみなさまにはリデュースの取組が浸透していないところもあるが、ライフスタイルの転換を呼びかけることであることから、息の長い取組になると思う。リデュース行動の推進に向け、今後も引き続きご支援・ご助言をいただきたい。

2 委員紹介

3 議事

(1) 検討委員会における検討状況等報告

事務局から全件概要説明後、各取組の報告

①22-A1（子ども靴のリユース）

提案者が個人で、ボルネオ島でボランティア活動をされており、「捨てられてしまう子ども靴」を集め、これまでに70足ほどの靴を子どもたちに届けている。

②22-A2（食品トレー削減）

食品トレーを使用しない食料品の販売イベントを平成23年度は瀬谷区内のスーパー3店舗で実施。PRチラシ等を配布して、啓発活動を行った。

③23-A1（オフィスでも3R夢）

関内地区のコンビニエンスストアと事業者に協力を得て、レジ袋や割り箸の削減を呼びかける取組を実施している。10月には、対象店舗7社28店舗において、啓発のキャンペーンを実施し、利用者にレジ袋や割り箸の辞退行動を呼びかけた。

④23-A2（マイボトルの活用推進）

現在、スポットの数を増やすために各方面と調整中。スポットの数はこれまでに4か所増え、現在8か所。

⑤23-A3（マイボックス）

お持ち帰り用の、繰り返し使用できる折りたたみボックスの活用を広げて行こうという取組。支援としては、ヨコハマRひろばパートナー制度や応援マークの活用とあわせ、ヨコハマRひろばのウェブサイトやメールマガジンで協賛店募集の呼びかけを行う。

⑥23-A4（古着リメイクによるリユース）

使い捨てられる衣料・古布を回収してリメイクをして販売したり、リユースやリサイ

クルを行うことで繊維資源の循環を図りたいという提案。

委員長：各取組状況等の報告について何か意見等がありますか。

委員：食品トレーは、家庭ごみの中で削減したいものの一つだと思う。販売側としては、バラ売りをすることで昔よりもトレーの数が減ってきていると思うが、お客様側としては、見た目がきれいなもの、清潔感があるものを求める方も多い。

マイボックスは、ケーキやどらやきなど、一つ一つ包装されているものには良いと思うが、汁気がある物やクリームがつくような商品は難しいのではないかな。

イトーヨーカドーでは、レジ袋を断ると2円引き。レジ袋の辞退率がこれまで2割から3割であったが、レジ袋辞退による割引制度導入後、4割を超えた。割り箸やリユース食器についても、メリット等があれば普及していくのではないかな。

委員：子ども靴のリユースの取組は良い形で進んでいると思う。この取組は一個人の取組だが、これを2人3人…10人と広げていくというハブのような機能を委員会が持つことができたらと感じた。「物を大切にしよう」という視点で、いらなくなった靴をどこに持っていくのが良いかを、委員会が情報発信していけるといいと思う。

委員長：トレーについては、それぞれの事業者や市民によるいろいろな取組が行われている。取組を面として普及していくためには、何が障害になっているのかという情報を蓄積できるといい。ぜひ今回のようなキャンペーンの成果や課題など情報を集め、データを残していくと良いと思う。

委員：日本フランチャイズチェーン協会では、2006年からレジ袋削減の取組を開始した。レジ袋は機能的な面では優れているものだと思う。丸々悪いものだと考えず、無駄にすることは良くないので、過剰なものは削減するという考えで取り組んでいく。今回の取組によって、家庭だけではなく、関内地区のオフィス街で取組が開始されたのは良いと思う。これから市内にも拡大していくと良いと思う。

委員長：事業者から見て、消費者の反応はどうか。レジ袋をくれる店舗にお客さんが流れてしまうということも起きるかと思うが。

委員：決して良い反応ばかりではない。お昼休みで時間がない中、多忙な中、店員にレジ袋について声かけされることが煩わしいと感じる方もいる。この取組を進めて行くに当たって、これまで苦情をいただいたことは一切ないが、啓蒙活動の一環というスタンスで取り組んでいる。

委員長：マイボトルスポットが各区ごとに設置されると良いと思うが、難しいかな。

事務局：努力してお声がけすれば、各区1店舗にご協力いただくことは可能と考える。

委員：商店街にご協力を依頼することも良いのではないかな。

(2) その他の活動報告→事務局から説明

- ①ウェブサイト及び「3R夢パートナー」「3R夢サポーター」制度について
- ②「ヨコハマRひろば」応援マーク制度
- ③ヨコハマRひろばチラシ

(3)「ヨコハマRひろば 2011」について→事務局から概要説明

4 情報提供 等

「ヨコハマ3R夢！」PRチラシの発行について→事務局から説明

ヨコハマR委員会にこれまでに寄せられた提案

No.	概要	支援内容等	今年度の実施状況等	検討会議	検証
22-A1	その多くが捨てられてしまう子ども用の古靴を集め、ボルネオ島の子供達に送りたい。	(H22)提案者居住区内のリサイクルショップに、協力の可能性について打診し、提案者に紹介。	緑区内のリサイクルショップにおいて、引き続き店頭回収を実施中。 (昨年からの回収数合計:70足 ※11月末現在)	第1回	第5回
22-A2	スーパーなどの小売店における肉や魚の販売に使われている食品トレーを削減するために、スーパーの協力を得て啓発キャンペーンを実施する。	(H22) ・チラシや啓発物品の作成支援、提供 ・記者発表などによる広報、区内の町内会掲示板へのポスター掲出調整 ・キャンペーン当日のスタッフ応援(記録係、取材対応等) (H23) ・チラシ作成支援、ジャンパー貸与、啓発物品の提供	食品トレーを使用しない食料品の販売イベント(生鮮エコ朝市)を3回実施し、PRチラシ等を配布して啓発活動を行った。 (11/5Fuji橋戸店、11/14コープ瀬谷橋戸店、11/26そうてつローゼン三ツ境店)	第1回～第4回	第5回
22-A3	「環境絵日記」の募集を通じ、夏休みに小学生やその家族がリデュースについて考えるきっかけを提供するなど、啓発活動に活用してほしい。	※本事業に対する具体的な支援は必要ないが、今後、リデュース啓発の一つの手段としての活用方法を検討していく。 ※「ヨコハマRひろば応援マーク」を提供。	・～9/5 作品募集 ※応募総数:18,690作品 ・10/30 リサイクルデザインフォーラム2011(表彰・展示イベント)を、大さん橋ホールにて開催。 ・10/22～11/28 環境絵日記作品展 in JICA横浜 ・11/12～12/11 環境絵日記作品展 in 横浜ホームコレクション	第1回	-
22-A4	産業廃棄物(事業者が製品を製造する過程などにおいて生じる廃材等)を有効活用するアイデアのコンテストを開催する。	※現段階では企画段階であり、今後、事業内容が具体的になり、横浜との関連性もはっきりしてから、具体的な支援策について検討していく。	※最終的に、企画内容に横浜との関連性がない形でまとまった。 ・作品募集期間: 6/8～8/31 ・入選作品展示会:10/22～11/1 コニカミノルタプラザにて開催。	第1回	-
23-A1	関内地区において、コンビニエンスストアと事業所の協力を得て、利用者にレジ袋と割り箸の辞退を呼び掛けるキャンペーンを実施する。	・宣言参加事業者への呼び掛け等について支援する。 ・ポスター、バッジの作成や、記者発表などによる広報について支援。	関内地区エリアにある8社27店舗のコンビニエンスストアの協力を得て、4/20よりキャンペーンを開始。10月に、7社28店舗でPRキャンペーンを実施。	第4回	
23-A2	マイボトルへの飲料提供を行う「マイボトルスポット」の設置拡大等を通じ、マイボトルの活用を推進したい。	・今後の推進策に関する意見を提供。 ・マークやPRツール(チラシ、のぼり)等に関する意見を提供等。	10月に3か所、11月に1か所を増やし、現在合計8か所。年明けに、一般募集開始予定。	第5回～第8回	
23-A3	繰り返し洗って使え、折りたたんで携帯できる食品用の箱である「マイボックス」を活用し、過程から捨てられる「包装容器廃棄物」を削減したい。	・ヨコハマRひろばウェブサイトやメールマガジンを活用し、協賛店募集のPRを行う。 ・今後、市内にマイボックスを有効に活用する協賛店が出てきたら、新たな取組としてウェブサイト等においてご紹介	9月から、客が持参したマイボックスを利用可能なお店(協賛店)の募集を開始し、埼玉県を中心に、約30店舗が登録。	第8回	
23-A4	衣料・古布を回収してリメイクを施して販売したり、効率的にリユースやリサイクルを行っていくことで、繊維資源の循環を図りたい。	・独自に中古衣料の回収を行うことは困難と思われるため、繊維リサイクル業者からの買取を提案。 ・繊維リサイクル業者探しの相談者として、横浜市リサイクル事業協同組合を紹介。	※引き続き、全国的な活動にすべく活動を進めており、相談については、あらためて連絡するとのこと。	第8回	
23-A5	リユース食器の普及促進等を通じて、区民まつり等のイベントにおける使い捨て容器の大量消費・大量廃棄を削減を図りたい。	※支援要望内容 ・イベントごみ削減のために、リユース食器の導入等の具体策を展開していくにあたり、課題の抽出や推進アイデアの提供等のご意見を伺いたい。	※区民まつり等の一部イベントにおいて、市からの補助金を受けてリユース食器を活用中。	(第9回)	

子ども靴のリユース ～不要になった子ども靴を、ボルネオ島の子どもたちへ～

子どもたちの成長につれ、まだ使える靴が履けなくなってしまいますが、服に比べて靴はなかなかリユース(再使用)が進みません。そんな「捨てられてしまう子ども靴」を集め、ボルネオ島の子どもたちにリユースしてもらおうというのがこの取組です。

ヨコハマR委員会から紹介されたリユースショップの協力を得て回収し、これまでに70足の子ども靴をボルネオ島に届けました(H23年11月末現在)。靴を受け取った子どもたちの素敵な笑顔をぜひご覧ください。

ボルネオ(東マレーシア)サバ州の子供たちへ「古靴」をプレゼントする運動を進めています。ボルネオ島は世界で3番目に大きな島。面積は日本の2倍弱。南側3分の2はインドネシア。その上を赤道が走り、年間を通して平均気温は20度超。四季は無い。台風が発生する地域の裏側にあり、大きな風雨災害は少なく天候は比較的穏やか。州都コタキナバル市の海辺から見る夕陽は水平線を真紅に染め上げ、見とれる人たちからは思わず歓声があがるほど。



コタキナバル市の「中心部」の風景です。このような中、人々は生活しています。街も人もともかく元気。子どもたちも大勢いて、最近の日本ではあまり目にしなくなったような気もする底抜けに明るい笑顔を見せてくれます。



子どもたちがサッカーに興じているところです。でもほとんどの子どもたちが裸足かビーチサンダル。暑いところなので小さな傷でも大ごとになりかねません。そこで、ひとりでも多くの子供たちに「(運動)靴」をプレゼントする活動を続けています。



今年私たちが訪れた山あいの村落の子どもたち。国道から山道を4輪駆動車で2時間半ほどのところにありました。いわゆる無医村なので、まず中間の医療ボランティアによる健康診断を受けた後、お菓子や飲み物・洋品と一緒に靴のプレゼント。



翌日私たちが村のはずれで見送ってくれました。思わず「また来るよ!」と言ってしまった私たちです。



～ご不用になったお子様の靴をお譲りください。皆様のご支援をお待ちしています。(詳しくはチラシをご覧ください)～

瀬谷から ノントレー大作戦！ 生鮮エコ朝市

～瀬谷区における食品トレー削減の取組～

今年の1月と2月に行われ、大変好評だった「瀬谷からノントレー大作戦『生鮮エコ朝市』」が、新しく「コープかながわ瀬谷橋戸店」の1店舗を加えて、全3店舗で行われました。

3日間とも天候に恵まれ、食品トレーを使っていない生鮮食料品のセールを楽しんでいたきながら、啓発チラシの配布や、食品トレーを使わない商品販売の意義などを瀬谷まちづくり区民の会の皆さんが中心となり、市民から市民へ伝えることが出来ました。

平成 23 年 11 月 5 日（土） 9：00～12：00 Fuji 橋戸店



平成 23 年 11 月 14 日 (月) 9 : 00~12 : 00 コープかながわ瀬谷橋戸店



平成 23 年 11 月 26 日 (土) 10 : 00~12 : 00 そうてつローゼン三ツ境店



「オフィスでも3R夢」(マイバッグ・マイ箸宣言) キャンペーン実施報告

1 キャンペーン日時

平成23年10月17日(月)から10月28日(金)(土・日曜日を除く10日間)
各日とも14時00分から16時00分
(17日及び27日のスリーエフ横浜市庁舎店のみ11時30分～13時30分)

2 対象店舗

関内地区内のコンビニエンスストア7社28店舗
※店舗ごとの実施日は別添のとおり

3 概要

市職員2名～3名が各店頭前で来店されたお客様や通行されている方に呼びかけを行い、啓発ティッシュ等を配布し、ポスターやのぼり旗も活用して、レジ袋削減等の取組を働きかけました。

4 配布物品数

啓発ティッシュ(6,200個)、マイバッグ(17日のみ配布500個)

5 キャンペーンの様子

別添のとおり

6 総評

- ・実施日時が14時からであったため、昼食のお弁当等を購入するお客様はあまり見受けられませんでした。店頭前を通行されている方にもレジ袋削減等呼びかけることができました。
- ・店舗前を通行されている方の中には、コンビニエンスストアでの買い物だけではなく、日常の買い物において「マイバッグ」を使用されているという声も見受けられました。
- ・店舗側からもお客様に対してレジ袋や割り箸の利用について声かけを行っていただきました。
- ・各店舗においては、ステッカーの掲示やキャンペーン実施時間中にポスターの掲示にご協力をいただきました。



啓発ティッシュ・マイバッグ

7 レジ袋・割り箸辞退結果(平成23年4月～9月 日本フランチャイズチェーン協会提供)

レジ袋

項目	※店舗数	A: レジ袋発注枚数 (レジ袋使用枚数) 【枚】	※B: レジ通過客数 (商品購入者数) 【人】	レジ袋辞退率 < (1-A/B) × 100% > 【%】
合計	29	3,883,300	6,587,558	41.1

<配付率 58.9>

割り箸

項目	※店舗数	A: 割り箸発注膳数 (割り箸使用膳数) 【膳】	※B: レジ通過客数 (商品購入者数) 【人】	割り箸辞退率 < (1-A/B) × 100% > 【%】
合計	29	1,158,300	6,587,558	82.4

<配付率 17.6>

※注1) 店舗数は、平成23年4月から9月の最大店舗数

※注2) 「レジ通過客数(商品購入者数)」は商品を購入した全客数

【比較】※神奈川県公表: 神奈川県におけるレジ袋の削減に向けた取組の実践に関する宣言

賛同者(スーパー等42社767店舗)のレジ袋辞退率 34.4%(平成22年)

【別添（スケジュール表）】

実施日	チェーン名	店舗名	住所
10月17日（月）	スリーエフ	日本大通店	日本大通17番地
		いちょう並木通り店 （g o o z）	日本大通15 朝日会館ビル1F
10月18日（火）	スリーエフ	横浜情報文化センター店	日本大通11
10月19日（水）	スリーエフ	神奈川県庁前店	本町2丁目10番地
	セブン-イレブン	横浜県庁前店	本町1-5-2
	デイリーヤマザキ	横浜本町店	本町3-24-1
10月20日（木）	デイリーヤマザキ	横浜馬車道店	弁天通4-67-1
	ローソン	横浜馬車道店	相生町5-81
		横浜本町四丁目店	本町4-40
10月21日（金）	セブン-イレブン	横浜太田町3丁目店	太田町3-36
	ファミリーマート	関内弁天通り店	弁天通3-48
	ミニストップ	ベイスターズ通り店	弁天通2丁目21
10月24日（月）	ファミリーマート	関内大通り店	相生町4-64
		横浜馬車道店	常盤町4-47
	ローソン	横浜住吉町四丁目店	住吉町4-45-1
10月25日（火）	ファミリーマート	関内常盤町店	常盤町2-20 ヴィラハイツ関内
		関内駅前店	港町2丁目9-2
	ローソン	横浜尾上町三丁目店	尾上町3-46-1
10月26日（水）	ファミリーマート	関内羽衣町店	中区羽衣町2-8-5
		関内蓬莱町店	中区蓬莱町3-104-1 トウセン関内ビル
		横浜不老町店	中区不老町1-3-6
10月27日（木）	スリーエフ	横浜市庁舎店	港町1-1
	ファミリーマート	横浜公園前店	山下町195-1
	ローソン	ダイワロイネットホテル 横浜公園店	山下町204-1
10月28日（金）	サンクス	横浜スタジアム前店	常盤町1-1
	セブン-イレブン	横浜ベイスターズ通り店	常盤町2-10
	デイリーヤマザキ	関内仲通り店	住吉町1-10
	ローソン	横浜住吉町店	住吉町2-22

【別添（キャンペーンの様子）】



17日には、「ヨコハマ3R夢！」マスコットイーオも登場し、店舗に多くの人が訪れ配布したマイバッグも大盛況でした。



昼食のお弁当等を購入される方は少ない時間帯でしたが、店舗前を通行される方へも呼びかけを行いました。



横浜市庁舎店の利用者は主に職員ですが、マイバッグを持参する方、そのまま持ち帰る方、レジ袋を受け取った方がいました。



楽しみながら“リデュース”を

お気に入りのドリンクと歩こう。 ～マイボトルスポットについて～



ペットボトル・缶
(ペットボトルの平均年間使用量)
約180本/人



マイボトル
(お気に入りのマイボトル1本)

マイボトルが空になったら、**マイボトルスポット**へ。

国民1人あたりに平均すると、1年間に約180本(500mlボトル換算)も使っているというペットボトル。マイボトルを持つことで、ペットボトルの使い捨てを減らしていきませんか？マイボトルスポットでは、マイボトルに飲み物を販売・提供しています。

おでかけのときには、ぜひバッグにマイボトルを。



このマークが目印です!



マイボトルスポット
マーク

マイボトルスポット

平成23年11月現在

- ・ 長屋門公園 ・ 鶴見ふれあい館
 - ・ 山手西洋館(エリスマン邸、外交官の家)
 - ・ カフェ「ル・シエール」
 - ・ 丸秀園 ・ 増田園 ・ ナカナ・カフェ
- ※ 詳しくは、裏面をご参照ください。

※ このほか、一部のコーヒーショップ等で、マイボトルへの飲料販売を実施しています。ご利用の各店舗でぜひご確認ください

マイボトルスポットのご案内

★ 内は、マイボトルを持参された方へのサービス内容です。

長屋門公園

- ★お茶の提供
- ★お湯・お水の無料サービス

相鉄線三ツ境駅から徒歩18分
かみあくわ
 またはバスで約6分の上阿久和
 バス停から徒歩5分



鶴見ふれあい館

- ★コーヒーなどの販売
- ★お水の無料サービス

JR鶴見駅西口から徒歩3分
 豊岡商店街内



カフェ 「ル・シエール」

- ★コーヒーなどの販売
- ★お水の無料サービス
(カフェご利用の方)

磯子区役所1階



エリスマン邸、外交官の家

山手西洋館

- ★コーヒーなどの販売
- ★お水の無料サービス

エリスマン邸：JR石川町駅から徒歩15分、
 みなとみらい線元町・中華街駅
 5番出口から徒歩10分
 外交官の家：JR石川町駅から徒歩5分



丸秀園

- ★お茶の販売

相鉄線天王町駅から徒歩7分
 保土ヶ谷区松原商店街内



増田園

- ★お茶の無料サービス

JR根岸駅から徒歩17分
 浜マーケットそば



ナカナ・カフェ

- ★コーヒーなどの販売
- ★お水の無料サービス
(カフェご利用の方)

中区役所1階



ヨコハマRひろばウェブサイトについて

開設：平成22年10月1日

アドレス：<http://www.r-hiroba.jp/>

- 内容：①ヨコハマRひろばの説明
②リデュースの説明
③リデュースの取組や運動の説明
④3R関連イベント情報
⑤ヨコハマ3R夢（スリム）
サポーター・パートナー登録
※平成23年4月1日より登録開始
⑥3R関連サイトリンク集
⑦3Rの取組の提案フォーム
⑧メールマガジン



◎サイトへの訪問者数（H23）

1月	約900	2月	約900	3月	約1200	4月	約1600
5月	約2000	6月	約2200	7月	約3000	8月	約2400
9月	約2200	10月	約3000	11月	約2600		

◎ヨコハマ3R夢（スリム）サポーター・パートナーの登録状況

ヨコハマ3R夢（スリム）サポーター 211名（11月末現在）

ヨコハマ3R夢（スリム）パートナー 53事業者 7団体（11月末現在）



◎今後のサイトの予定

- (1)「ヨコハマRひろばブログ」の開設（1月）
- (2)携帯電話から3R夢サポーターに登録できるシステム（1月）

リデュース

「ヨコハマ R ひろば」 応援マーク 使用申し込みの手引き

1 「ヨコハマ^{リデュース} R ひろば」応援マークとは

「ヨコハマ^{リデュース} R ひろば」応援マークとは、リデュースをはじめとする「3R」を推進する特定の取組、イベント等（以下、「取組等」という）に対し、市民・事業者・行政の3者がリデュースなどを進めていくしくみである「ヨコハマ^{リデュース} R ひろば」が応援していることを示すマークです。



「ヨコハマRひろば」応援マーク

2 「ヨコハマ^{リデュース} R ひろば」応援マーク使用の対象となる取組等

- (1) 「ヨコハマ^{リデュース} R ひろば」の趣旨に賛同するもの。
- (2) 下記のような意図や内容を含む取組等に使用することはできません。
 - ア 特定の政治・宗教・思想の活動とみなされるもの
 - イ 公序良俗に反するもの、不快感を与えるもの
 - ウ 特定の商品のPRや販売に重きを置いているもの
 - エ その他、ヨコハマ^{リデュース} R 委員会が不適切と認めるもの

3 「ヨコハマ^{スリム}3R夢パートナー」、「ヨコハマ^{スリム}3R夢サポーター」への登録

「ヨコハマ^{リデュース} R ひろば」応援マーク使用の申し込みにあたっては、「ヨコハマ^{リデュース} R ひろば」の趣旨に賛同することを表明するしくみである「ヨコハマ^{スリム}3R夢パートナー」（事業者・団体等）または「ヨコハマ^{スリム}3R夢サポーター」（個人）に登録していただきます。

ヨコハマ3R夢パートナー・サポーター登録ページ

<http://www.r-hiroba.jp/supporters/touroku0.html>

4 「ヨコハマ^{リデュース} R ひろば」応援マーク使用申し込みの際にご協力いただきたいこと

- (1) 広報の連携
「ヨコハマ^{リデュース} R ひろば」では、ウェブサイト等においてリデュースの取組等について情報発信しています。イベント等につきましては、「ヨコハマ^{リデュース} R ひろば」ウェブサイトイベント登録をお願いします。また、それぞれがお持ちのウェブサイトや広報媒体、活動の場において、「ヨコハマ^{リデュース} R ひろば」のPRをお願いします。
「ヨコハマ^{リデュース} R ひろば」応援マークは、チラシ等に表示していただくようお願いします。また、イベント開催時等の「ヨコハマ^{リデュース} R ひろば」の広報にご協力ください。
- (2) アンケート等への協力
「ヨコハマ^{リデュース} R ひろば」事務局から、リデュース等の取組推進の参考とするため、主催者や参加者の方を対象としたアンケート等をお願いすることがあります。その際のご協力をお願いいたします。

5 「ヨコハマ^{リデュース} R ひろば」応援マーク使用についてのご注意

「ヨコハマ^{リデュース} R ひろば」応援マーク使用申し込みは、「ヨコハマ^{リデュース} R ひろば」の趣

旨に賛同し、3Rを推進する取組等を、広報等で支援することを目的としたものです。したがって各取組等の趣旨・内容・質およびその効果に関して、「ヨコハマ^{リデュース}Rひろば」が認証を与えるものではありません。

また、取組等の実施における事故やトラブル等については、各主催者の責任により対応することになりますので、ご承知ください。

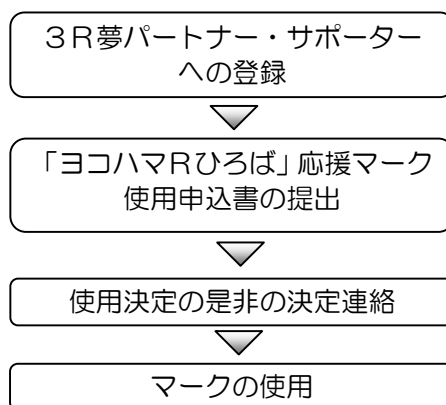
なお、取組全体に対して応援マークの使用を申請する場合、申込書に記載した内容においてのみ、マークを使用することができます。取組内容に追加や変更が生じた場合は、改めてお申し込みが必要となりますのでご注意ください。

6 申し込み時期と使用決定の流れ

「ヨコハマ^{スリム}3R夢パートナー」(事業者・団体等)または「ヨコハマ^{スリム}3R夢サポーター」(個人)登録後、募集は随時行います。

通常、使用申し込み日から業務日7日程度で、お申込みに使用の是非を通知いたします。

【申し込みの流れ】



※イベントの場合は、「ヨコハマRひろば」ウェブサイトのイベント登録システムにもご登録ください。

7 お問い合わせ、申込み先

別紙 様式にご記入いただき、必要により資料を添付し、下記事務局まで、電子メール、FAX、郵送のいずれかでお申し込みください。様式は、下記ウェブサイトからダウンロードできます。

■ お問い合わせ・申込み先 ■

「ヨコハマ^{リデュース}Rひろば」ウェブサイト
<http://www.r-hiroba.jp/>

「ヨコハマ^{リデュース}Rひろば」事務局
横浜市資源循環局3R推進課

TEL : 045-671-2530 / FAX : 045-663-5834

E-mail : sj-reduce@city.yokohama.jp

※ 本手引きは、事前の通告なく必要に応じて改訂される場合がありますので、ご承知ください。

平成23年12月5日

「ヨコハマRひろば」応援マークの使用について

リサイクルデザインフォーラム 2011 当日配布パンフレットに掲載。

※ 6339名に配布

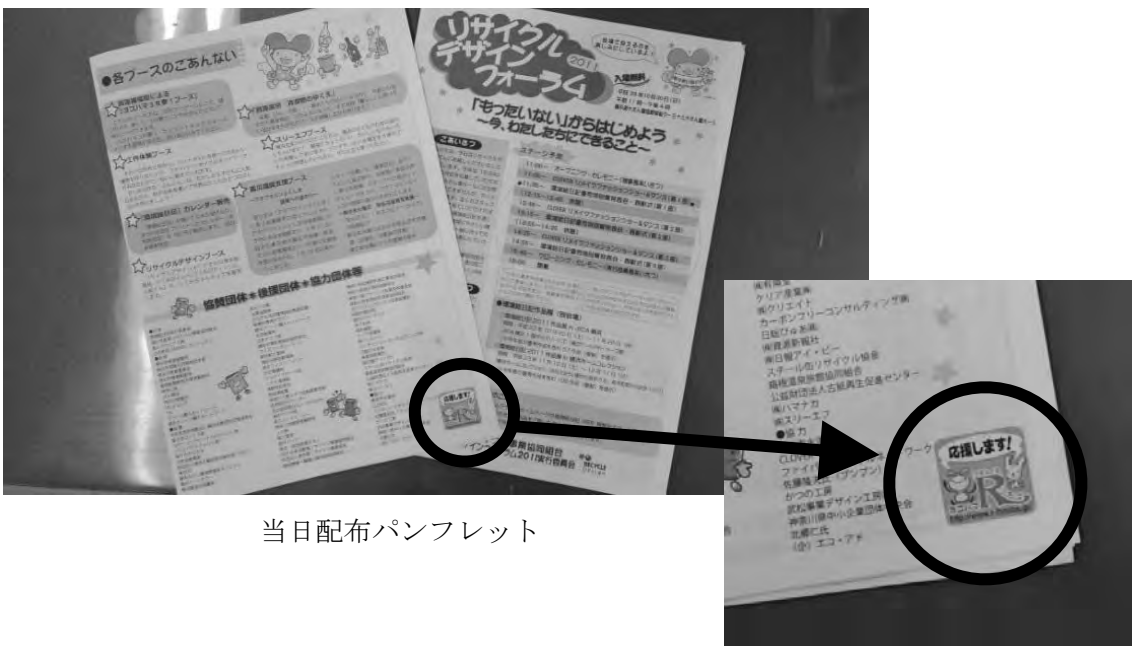
【イベント概要】

日時：平成23年10月30日（日）11時～16時

会場：横浜港 大さん橋国際客船ターミナル 大さん橋ホール

参加対象者：「環境絵日記」応募者全員を招待（小学校1～6年生とその保護者）、
一般参加希望者

内容：環境絵日記の特別賞発表会・表彰式、入賞作品の展示を同時開催



当日配布パンフレット



「ヨコハマ3R夢！」
マスコットイーオ

リデュース ヨコハマ R ひろば



へら量人
ミーオ

G30のその先へ・・・

～横浜らしく ★ カッコよく～



「もったいない」を楽しもう！

平成23年12月11日(日)

10時～15時

会場：新都市プラザ

《横浜とごう地下2階正面入口前》



参加無料！

ひろば de イベント

体

ふろしきで
包んで結んで
楽しんで！

みんなが
えらぶ
マイボトル！



クイズラリー
*エコな景品付
限定500個

体

英字新聞
ポスターが
バッグに
大変身！

体

再生工房へ
ようこそ！

「リデュースや
3Rの
取組紹介」

体

印は、体験コーナー。
当日受付先着順です！
午前 11:00～12:00 午後 13:30～14:30

主催：ヨコハマ R 委員会

講座体験コーナー

再生工房へ ようこそ!

使われなくなった布や毛糸、紐、紙からかわいいものを作ります。ナイロンストッキングからポテト、肩パットから白い天使たちを、雑誌・ポスターを切り抜いてカードやしおりを、ハギしでお城や、木々、ゾウたちなど。

物を大切にしておゴミを出さない暮らしのヒントを学びます。

講師：環境マイスター
三宅喜代子さん

ふるしきで.. 包んで結んで 楽しんで!

一枚の四角い布が、ちょっとした包み方の工夫で簡単に大変身します。

帽子やバッグの他、ワインなどの瓶や箱など贈り物のオシャレな包み方、ホームパーティーなどへ持参する大皿の包み方など楽しく学びます。

講師：ふるしき研究会
菊池靖子さん

英字新聞 ポスターが バッグに大変身!

不要になった英字新聞やポスターを再利用してバッグを作ります。

新聞は、掲載されている文字や写真、イラストが違うので形状が同じでも柄のバリエーションは様々。

自分だけのオリジナルバッグを一緒に作りましょう。

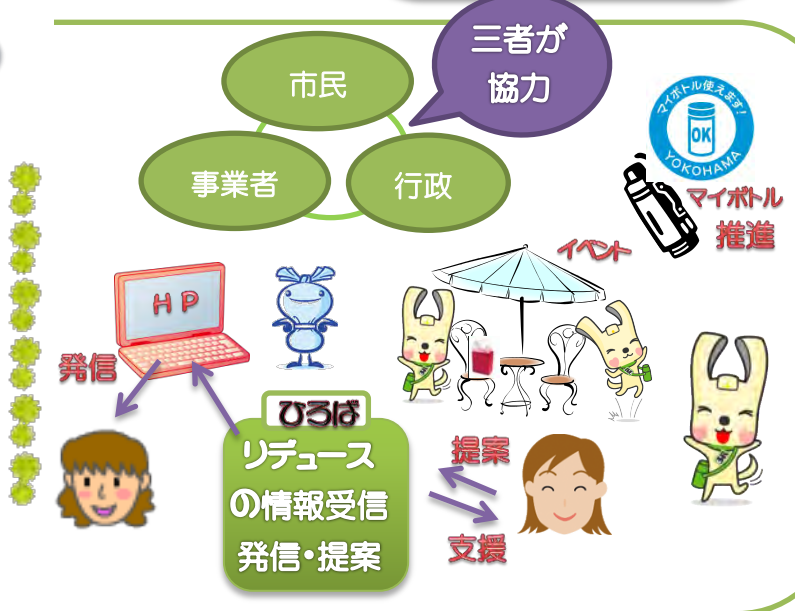
講師：地域作業所 hana

リデュース ヨコハマ R ひろば...とは?

“ヨコハマR(リデュース)ひろば”は、市民・事業者・行政の3者が協力してリデュースをはじめとした3Rの取組を推進していくためのしくみとして、平成22年10月に設置されました。

具体的には、ホームページやイベントなどを活用して情報発信を行うほか、市民・事業者・行政の3者により構成される推進組織、“ヨコハマR(リデュース)委員会”において、提案された新たな取組について支援を行い、その成果を検証した上で、展開させていきます。

ヨコハマひろば 検索



リデュース...とは?

工度
No.1

リデュース
Reduce

ごみそのものを減らす

リユース
Reuse

何回も繰り返し使う

リサイクル
Recycle

分別して再び
資源として利用する

リデュースとは...

- ・ごみになるものをできるだけもらわない
- ・必要以上に物を買わない
- ・物を大切に使う

などの行動を通じて、ごみそのものを減らす取組です。

具体的な取り組み例としては...

- ・余分な包装を断る
- ・マイバッグを携帯し、必要以上にレジ袋をもらわない。
- ・ばら売りや量り売りで必要な分だけ買う。

